

第374空輸航空団と陸自、CBRN対処相互運用性会議を実施 374th Airlift Wing and Japan Ground Self-Defense Force Interoperability Conference

January 26, 2021

By Staff Sgt. Miquel Jordan
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)横田基地で1月20日、陸上自衛隊中央特殊武器防護隊の松原泰孝1等陸佐(右)にCBRN(化学・生物・放射性物質・核テロ対策)の偵察車両の目的について話す第374施設中隊危機管理監督官クリス・ガベッツ曹長(左)。

この日、陸上自衛隊幹部は第374空輸航空団の作戦手順を紹介するCBRN対処の相互理解運用性会議に参加するため、横田基地を訪問した。



(写真2)陸上自衛隊中央特殊武器防護隊隊長松原泰孝1等陸佐にCBRN偵察車両の目的について話す第374施設中隊危機管理計画・運用下士官主任ザクリー・パスコヴィッチ曹長。

他にも、第374医療群によるCBRN医療緊急対応の模擬実演が行われた。



(写真3)制限時間内にMOPP(任務志向防護態勢)服を着用する実技を陸上自衛隊幹部に見せる第374施設中隊サミュエル・ベイカー一等空兵(左)とビンセント・ダラー上級空兵(右)。

この模擬実演は、陸上自衛隊と航空自衛隊に横田基地のCBRN手順を紹介する相互運用性会議の一環として行われた。

